

第11回 サステナブル地域づくりフォーラム

次世代への持続可能な地域づくりを目指して

令和
6年

11月12日 火 13:30～
15:00 (予定)

コーディネーター

日本大学工学部土木工学科

教授 中野 和典 氏

第11回サステナブル地域づくりフォーラムは、4人の講師陣からフォーラムに関し現在取り組んでいる活動報告や最新状況を提供します。どなたでも聴講可能ですので、皆様お誘いの上、ご参加ください。

日本大学工学部 50周年記念館(ハットNE) 3階 AV講義室
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原1番地

参加費無料 どなたでも聴講OK

講演終了後、現在建設中の「ロハスの森」の見学会を開催します。(自由参加)

講演1

土木工学科 教授 子田 康弘 氏

福島県産学連携ロボット研究開発支援事業におけるインフラ点検の取り組み

福島県産学連携ロボット研究開発支援事業(令和3年度から令和5年度)の採択を受けて、福島県内の企業と共同で橋梁点検者の点検業務を支援する研究開発に取り組んできました。当日は、その取り組みの背景や目的についてご紹介します。

講演3

情報工学科 教授 和泉 勇治 氏

AIはどのようなものか？

近年、AI(Artificial Intelligence)が様々な分野で利用されるようになりました。いわゆるAIというものは、どのような原理で動作するものなのか、どのようなものに応用が期待できるものなのかを、かみ砕いてご紹介します。

申込締切日 11月8日(金)

申込方法 ホームページの申込フォームまたは裏面参加申込書によりお申込ください。

主催：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

共催：日本大学工学部

講演2

土木工学科 准教授 笠野 英行 氏

鋼橋とその変状

1964年に開催された東京オリンピックに併せて、日本の社会インフラは急速に整備されました。その当時、鋼橋の耐用年数は50年と言われており、現在では多くの鋼橋が点検およびメンテナンスを必要としています。鋼橋の変状で最も問題になるものが腐食ですが、鋼橋の特徴と変状の要因についてご紹介します。

講演4

情報工学科 准教授 中村 和樹 氏

鋼橋の腐食検出支援のための持ち運び容易なAIカメラの開発

本研究では、AIを実現する手法の1つである畳み込みニューラルネットワーク(Convolutional Neural Network:CNN)を適用した鋼橋の腐食検出器となる学習モデルを構築することにより、この学習モデルをソフトウェア(通称 ロハスのソフトウェア)として組み込んだ腐食検出AIカメラを開発しました。当日はこのAIカメラをご紹介します。



(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構 行

FAX : 0 2 4 - 9 4 7 - 4 4 7 5

第11回 サステナブル地域づくりフォーラム 参加申込書

企業・団体名			
所在地	〒		
電話		F A X	
担当者			
E-mail			

No	部署名	役職	氏名	ロハスの森 見学希望
1				有 ・ 無
2				有 ・ 無
3				有 ・ 無
4				有 ・ 無
5				有 ・ 無



お問い合わせ先

公益財団法人
郡山地域テクノポリス推進機構

〒963-0115
福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階

TEL.024-947-4400
FAX.024-947-4475

E-mail : techno@nm.net6.or.jp
URL : <https://www.techno-media.net6.or.jp>